

助成年度：2020 年度

[所属] 国土館大学 理工学部

[役職] 准教授

[氏名] 西村 亮彦

[課題]

伝統工法を活用した歴史的風致の維持・向上手法に関する研究

[内容]

本研究は、地域の伝統工法を取り巻く社会状況を、ヒト(人材)、モノ(材料)、コト(市場)、カネ(資金)の4項目に着目して整理した上で、伝統工法が持つ地域資源としての多面的な価値を引き出し、持続的な地域づくりに活かす方法論を提示することを目的として、次の3つの研究項目を実施した。

- ① : 歴史的風致維持向上計画の認定都市に対するアンケート調査を実施し、伝統工法の活用に係る各種取り組みについて、具体的な活動内容とその結果、及び活用上の課題を収集・整理した。
- ② : 全国各地で伝統工法の活用に取り組む様々な立場の関係者に対するヒアリング調査を実施し、取り組みを通じた i) ヒト・モノ・コト・カネの流れ、ii) 関係者の役割分担、iii) アウトカムを整理した、活動スキームのダイアグラムを作成した。
- ③ : ②で収集した取り組みを活動スキームに基づいて類型化(学校・塾タイプ、実践講習タイプ、自助共助タイプ、ネットワークタイプ、データバンク・ファンドタイプ)した上で、各類型の代表事例に関する追加のヒアリング調査を実施し、伝統工法の活用に取り組む上での具体的な課題とその解決に向けたアイデア・ノウハウを収集し、活動スキーム毎に持続的かつ効果的な活用方法を検討した。

伝統工法の活用を通じた歴史的風致維持向上の取り組みについて、現場からの学びを体系的に整理・分析し、全国各地の現場へノウハウをフィードバックするため、研究成果を事例集及び手引き形式の技術資料としてとりまとめ、歴史まちづくりに取り組む自治体や民間団体による資料の活用を図っている。